

2024年2月5日  
朝日生命保険相互会社

## スパークス・グリーン蓄電所ファンドへの投資について

朝日生命保険相互会社（社長：木村博紀、以下「当社」）は、スパークス・グループ株式会社（以下「スパークス」）が運営する「スパークス・グリーン蓄電所投資事業有限責任組合」（以下「本ファンド」）への投資を決定しましたので、お知らせします。

本ファンドは、国内における蓄電所（電力系統に直接接続を行う蓄電池）への投資を行うものです。近年、再生可能エネルギー（以下「再エネ」）の発電設備の開発が進展していますが、太陽光・風力等は天候や時間帯により発電量が大きく変動する一方、電力需要も季節や時間帯により変動するため、電力の需要と供給を調整する機能が必要不可欠です。

蓄電所は再エネを含むあらゆる電力の調整を可能にし、再エネの普及に寄与するため、その導入拡大は、温室効果ガス排出量ネットゼロの実現を促進する重要な取り組みです。

### <プロジェクトの概要>

名 称	スパークス・グリーン蓄電所投資事業有限責任組合
運 営 会 社	スパークス・グループ株式会社
投 資 対 象	国内の蓄電池事業を対象とする出資持分、その他投資証券等
契 約 締 結 日	2024年1月19日
存 続 期 間	25年
当 社 投 資 金 額	10億円
対応する持続可能な開発目標（SDGs）	 

当社は、中期経営計画「Advance ～The road to 2030～」で、持続可能な社会の実現に貢献し、社会への責任を果たしていくことを目指しており、資産運用面においてこれまでもグリーンボンドや太陽光発電事業を中心とした再エネ分野への投融資を行ってまいりました。本ファンドへの投資は、当社としては初めての「蓄電所」への取り組みとなります。

当社は今後も、温室効果ガス排出量ネットゼロの実現に向けたESG投融資を一層推進してまいります。

以 上